当該事業の目的を記入

枝事業ごとに事業内容(実行計画期間中の4年間の内容)を具体的に記入 ※枝事業が3事業あれば、3段を使って それぞれ記入

枝事業ごとに成果指標を記入 ※成果指標が全くなければ、活動指標 を記入

※枝事業一つにつき、少なくとも一つ は指標を記入

担当する職員数を記入
※小数点第二位まで可
※再任用職員については常勤職員の
方に含む

基	本目標 I	個別目	標 2	基本施策(] 関係法		外部評価委員会に関する規則	会条例、新宿区行政
計	画事業 85	行政評	価制度の推	進			事業	開始 年
目的]							
区7	が実施する施策	及び事業の	の適切な進行管	管理を図り、効果	的かつ効率的	な区政運営に	資するとともに、	区政運営について
〜 の	説明責任を果た	すことを目	的として、行政	女評価を実施しま	きす。			
		手段				27年度の主7	な実施内容等	
7	Fac -	z bl-htc TI v	*********	サービス	■ 税負担		受益者負担	担い手行政
1	区の行っている 域社会にもたらっ				□ ボランラ・計画事業系		その他 こべくn絙クgoす	その他
	価し、結果を予算							事業に対する外部評
					価)		A 14 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15	
				サービス の負担	日 税負担		受益者負担	扣1.1手
2				の負担	□ ボランラ	「イノ寺 口・	その他	
				実施内容				
\dashv				1L 1 "-	口袋在扣		亚 光 孝	
				サービス の負担	□ 税負担□ ボランラ		受益者負担 その他	担い手
3				** 50,122	<u> </u>	-17 -F U	C-//IB	
				実施内容				
日地	設定				<u> </u>			~
- 7		指標名			定義			目標水準
,	経常事業評価の推進			第二次実行計i	第二次実行計画期間中に評価する経常事業数 (平成24年度変更) 4年間で評価の対象となる 事業数が400事業程度 (平成24年度変更)			
1								
	計画事業評価の推進			(1,7)				
2	(平成25年度変更)			第二次実行計	画期間中に外	部評価する計画	国事業数 270	事業程度
3								
	達成状況	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	24~27年度	備考
41-	目標値(当初)A		本格実施	1 104	201/2		本格実	
指標	目標値(変更)B		70 72	110	110	110	40	00
1	実績 C		72 102.9	124 112.7	137	137	117	7.5
11-	達成度=C/A 目標値(当初)A	%	102.9	40	124.5 40	124.5 90	27	
指標	目標値(変更)B							
信 2	実績 C		102 102.0	41 102.5	42	90 100.0	27 101	75
	達成度=C/A 目標値(当初)A	%	102.0	102.5	105.0	100.0	101	1.9
指槽	目標値(変更)B			 				
標 3	実績 C							
	建 成侵一U/A	%						
₽3	経費	出法	0.4年度	05年度	06年度	07年亩	24 27 左 亩	/# *
		単位	24年度 5,917	25年度 6,033	26年度 6,048	27年度 6,000	24~27年度 23,9	備考
財源	特定財源	千円	0,917	0,000	0,048	0,000	43,9	96
	般財源投入率	%	100.0	100.0	100.0	100.0		ÿ,
	事業経費	千円	5,917	6,033	6,048	6,000	23,9	98
	当初予算額	千円	7,171	7,171	7,147	7,207	28,6	
	執行率	%	82.5	84.1	84.6	83.3	83	•••••
	TA(1) ++-	70						
	予算現額	千円	7,171	7,171	7,147	7,207	28,6	96
			7,171 82.5	7,171 84.1	7,147 84.6	7,207 83.3	28,6 83	
	予算現額	千円		84.1				3.6

当該事業の関係する条例や個別計画等 を原則として漏れなく記入

当該事業の主要な部分に着目し、当該 事業を開始した年度を記入 (「平成〇年度頃」や「不明」とすることも

該当するものを選択(複数選択可)

ゲービスの担い手(サービスを提供する主体)を二つまで選択 ※DDL:行政、民間事業者、地域組織、NPO、その他

枝事業ごとに平成27年度の実施内容を 簡潔に記入

各指標の平成27年度の実績を記入

平成27年度の特定財源額·事業経費・ 当初予算額·予算現額を記入 ※四捨五入 **計画事業** 85

評価

所管部

総合政策部

所管課 行政管理課

		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
点	評価区分	評価の理由			
ごスの	適切	限られた行政資源を有効に活用し、公共サービスのあり方を見直し、効率的で質の高い行政 サービスを実現していくため、学識経験者や区民等で構成される外部評価委員会を設置していま す。区民の目線を取り入れつつ、区が主体となって行政評価を継続的に実施・公表していくことは			
担と	適切/改善が必要	適切です。			
切な 設定	適切	将来を見据えた整実な財政運営に立脚し、時代の変化に機動的かつ的確に対応して区 を支えるためには、区が実施している全ての事業について効果・効率性などを検証する必当 ます。このため、「経常事業評価の推進」及び「計画事業評価の推進」を目標とし、原則とし、			
	適切/改善が必要	の事業を内部評価することは適切です。			

効果的·効率的 効果的 効率的 な視点 効果的·効率的 /改善が必要

行政評価の結果を施策や事業に反映させることにより、効率的で質の高い行政サービスの実現 が期待できます。さらに、計画事業と経常事業を評価対象とすることで、区が実施している事業全 般にわたり検証ができるため、効果的であると評価します。

達成度が高い 目的 目標水準) 達成度 達成度が高い/低い

平成26年度は第二次実行計画評価の2年度目として、計画事業の「まちづくり編」及び「区政運 編」について111事業の内部評価及び42事業の外部評価を実施しました。また、経常事業につい ては、137事業の内部評価及び57事業の外部評価を実施することができました

設定した指標はいずれも目標値を超えて達成していることから、目的の達成度は高いと評価しま

計画どおり 総合評価

内部評価、外部評価及び区の総合判断において、計画どおりに事業を実施することができまし た。あわせて、評価対象の経常事業について事業別行政コスト計算書を予定どおり作成することが できたので、計画どおりと評価します。

第二次実行計画期間を通じた分析・評価

計画以上/どおり/以下

計画事業評価については、毎年度評価を実施することによって、計画・実行・評価・見直しというサイクルを区政運営 定着させることができました。

成果

+ + m		24年度	25年度	26年度	27年度
年度別 総合評価	内部評価	計画どおり	計画どおり	計画どおり	計画どおり
₩ D BT IM	外部評価	適当である	_	適当である	
第二次実行 計画期間		た。あわせて、評価対象	の経常事業について事	ヽて、計画どおりに事業を 業別行政コスト計算書を	実施することができまし 予定どおり作成することが
における 総合評価	計画以上/どおり/以下	できたので、計画どおり	と評価します。		<

准捗状況・今後の取組方針

	9 V\ //\	<u>フレマンル(作品/ファ</u>
27 年 度	実際の 取組	区民視点で分かりやすい内部評価となるよう全庁的に調整を行うとともに、内部評価及び外部評価の実施結果を第三次実行計画の策定や次年度の予算編成等に反映しました。また、新宿区外部評価委員会の第二期委員の任期が平成27年度をもって満了となるため、第二期の4年間の活動の全括及び次期外部評価委員会への引継ぎを支援しました。
28	★ 新たな 課題	行政評価制度の運用に当たっては、区民への説明責任を果たすため、より分かりやすい評価内容とする必要があります。
年度	方向性	継続 ・継続・手段改善・事業縮小・事業拡大・事業統合・事業分割・廃止・休止・終了・その他
及	取組方針	行政評価については、区民への説明責任を果たすため、より分かりやすい評価内容とするべく、評価シート等の見直しを図るほか、記載内容についても区民に説明する立場で記載します。 また、次の総合計画期間における行政評価手法等について外部評価委員会に諮問し、これまでの制度運用を振り返って検証するとともに、新しい総合計画等の進行管理の仕組みとして、より事業や施策の改革・改善につながる視点で見直と行います。 これらのことにより、行政評価制度をより一層推進していきます。

当該事業を所管する部課名を記入 ※平成28年度からの新所属名を記入

左頁の「サービスの負担」と「担い手」の観点に基づき適正な対応がとられているか分析し、評価する ※左頁「サービスの負担」と「担い手」で「受益者負担」又は「その他」を選択した場合、その内容をこの欄 で説明

適切な目標設定であるか分析し、評価する(区民ニーズを踏まえた目標になっているか、事業を取り巻 く環境・将来予測・需要・実績などからみて指標は適切か、第二次実行計画で達成できる目標設定と なっているか等。)※ローリング等で指標を変更した場合は、変更理由を記入

費用対効果という観点から、効果的・効率的に事業が行われているか分析し、評価する

目的や意図する成果に対して、それが達成できているか分析し、評価する

指標の達成度から評価を判断するため、達成できない項目があれば原則として「達成度が低い」とな り、この場合、達成できなかった理由の説明を記入

なお、一部の指標について達成できていなくても、目的や意図する成果に対して達成度が高いと評価 できる特別な事情がある場合には、必ずその内容を記入

上記の四つの視点及び計画事業の進捗状況を踏まえ、27年度の事業実績の総合評価を実施 四つの視点による評価が「改善が必要」「達成度が低い」である場合、あるいは指標の当該年度目標 が達成されていない場合は、原則として「計画以下」となる

それでも「計画どおり」「計画以上」とする場合、その理由を十分に説明する

また、執行率が7割に満たない場合は、その理由を記入し、そのことも踏まえて総合評価を実施

第二次実行計画期間中(平成24~27年度)に得られた当該事業の成果を記入

当該事業の第二次実行計画期間における総合評価の結果

第二次実行計画期間中の成果や指標の達成状況、各年度の総合評価を踏まえ、第二次実行計画期 間における総合評価を行い、その評価理由を記入

平成27年度の実際の取組内容を記入

平成27年度の実際の取組を通じて明らかとなった当該事業の課題を記入

「28年度新たな課題」を踏まえ、平成28年度の事業の方向性を選択し、取組方針を記入